

曹洞宗総合研究センター
教化研修部門

令和 4 年度

研修生・研究生
募集要項

曹洞宗総合研究センター教化研修部門は、研鑽を積もうと志す若い宗侶に向けた人材養成機関です。

伝統宗学や仏教学、そして宗教学や文化諸科学といった隣接分野の研究成果を学際的に学びながら、現代から未来への社会に貢献することの可能な人材を打ち出していくことを目的としています。

大学で習得した仏教の専門知識をさらに実践面で活かす方を学びたい、説法や布教教化の真髓を体得したいと考えているあなたこそ、教化研修部門で学ぶにふさわしい人です。

各分野のトップレベルの講師陣のもと、少人数制で3年間にわたる体系的な学習システムによって、学ぶことができます。研修部3年間の後、修了者にはより深く学ぶことができる研究部が開設されています。



曹洞宗宗務庁



曹洞宗宗務庁第三分館
曹洞宗総合研究センター



令和3年度曹洞宗総合研究センター入所式

研修内容

講義

1年度		2年度		3年度		集中講座	その他
前期	後期	前期	後期	前期	後期		
<ul style="list-style-type: none"> 日用経典1 (経典) 日用経典2 (相録) 教団と人権1 (基礎講座) 法話実習1 話しことば 国際伝道史 	<ul style="list-style-type: none"> 禅宗史 参禅指導 积尊論 (釈尊と現代人) 人間と宗教1 (社会福祉) 布教理論 	<ul style="list-style-type: none"> 曹洞宗学 (両祖の教えと現代的意義) 宗典1 (『正法眼蔵』等) 法式実習 教団史 (近世・近代伝道史) 宗教と現代・社会 	<ul style="list-style-type: none"> 仏典1 (印度撰述) 教団と人権2 教化活動法1 (文書・集会) 教化活動法2 (ボランティア) 	<ul style="list-style-type: none"> 宗典2 (『伝光録』等) 詩偈 法話実習2 仏教教育 	<ul style="list-style-type: none"> 人間と宗教2 (マーケティング) 人間と宗教3 (葬祭・祈禱・宗教儀礼) 現代教団論 	<ul style="list-style-type: none"> 梅花流詠讃歌 仏教聖歌 (1年度) カウンセリング (1年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 伝光会摂心 (1年度) 眼蔵会 (1年度) 布教師養成所 (2年度)

(令和3年9月30日現在)

主な年間行事

- 4月 入所式
- 5月 個人研修・研究年間計画書提出
- 6月 大本山總持寺伝光会摂心 (1年度)
布教師養成所第1期 (2年度)
- 8月 青少年書道展運営協力
- 9月 所外伝道実習
個人研修・研究中間報告書提出
- 10月 布教師養成所第2期 (2年度)
大本山永平寺眼蔵会 (1年度)
- 11月 総合研究センター学術大会
- 2月 布教師養成所第3期 (2年度)
「禅をきく会」運営協力
- 3月 修了式
個人研修・研究年間報告書提出



各種実習

◇ 高齢者福祉施設法話会

高齢者施設 5 か所において、法話伝道を実施しています。この実習では、法要進退・法話・梅花流詠讃歌・レクリエーション等の技能の習得とともに、在園者とのふれあいを通して、対機への理解を深めることを目的としています。



◇ 伝道実習

幼稚園・保育園へ赴き、演劇やレクリエーションを行う中で、幼児への伝道の実際について学びます。また、現代社会の中でどのように仏教を伝えていくか、効果的なテーマ設定や集客方法等について研修します。



◇ 坐禅指導（駒沢坐禅教室）

駒沢大学の坐禅堂を会場に一般参加者を募集し、定例の坐禅会を企画・運営する中から、その手法を学んでいます。



◇ ウェブサイトの運営・伝道冊子の発行

対外的に活動をする際に「Shojin-Project」の名称を用いています。ウェブサイトの運営ではコラムの掲載やイベントの情報を発信し、インターネットを活用した布教伝道方法を学びます。また、伝道冊子を発行し、その編集作業の技能を習得します。



◇ 要請に応じた教化の現場への参画

曹洞宗宗務庁などからの要請に基づき、それぞれの機関が運営する教化活動（禅をきく会、青少年書道展、アース禅堂、テレホン法話、写経会、講演会など）に協力する中から、その実際と手法を学びます。



◇ 学術大会

毎年1回、宗門内外を問わず、教化や宗学に関連する諸問題をテーマとした研究を発表する学術大会が開催され、研究発表の場が設けられます。
研修部は3年度に1回、研究部は毎年度発表することになります。

◇ 個人研修

3年間の研修期間中、研修生・研究生は自分の問題意識を掘り下げて研修していくために、指導講師からテーマに沿った個別指導を受けます。その研修で積み重ねた成果が、年間レポートとしてまとめられ、学術大会での発表、『学術大会紀要』への掲載につながっていきます。



◇ 両大本山での研修（大本山永平寺眼蔵会・大本山總持寺伝光会摂心）

宗典の参究と叢林の規範を学ぶため、1年度は大本山永平寺眼蔵会、大本山總持寺伝光会摂心のため上山します。

※ コロナウイルス感染症流行における対応について

コロナウイルス感染症の流行に際し、いわゆる「密」を避ける観点から、講義や各種実習、イベント開催などにおいては、オンライン会議システムを導入するなどの対応をしています。感染症の流行状況下でも、可能な限り研修成果が上がるよう、令和4年度においても、流行状況に応じて、適宜対応していくことをご承知頂ければと思います。

曹洞宗総合研究センター役員・研究員

(令和3年9月30日現在)

所長	志部憲一	事務局長	若松弘幸	
常任研究員	未来創生研究部門	清野宏道	宇野全智	久保田永俊
	近現代教団研究部門	古山健一	宮地清彦	
	宗学研究部門	小早川浩大	澤城邦生	
	教化研修部門	関水博道	南原一貴	小杉瑞穂

曹洞宗総合研究センター 教化研修部門 講師

(令和3年9月30日現在)

石川光学	伊藤良久	岩永正晴	宇野全智	岡本啓宏	大菅俊幸	尾崎正善	草柳隆三
来馬正行	高屋継仁	小杉瑞穂	小早川浩大	久保井賢丈	讃岐真佐子	篠原鋭一	
島蘭進	笹川敏幸	関水博道	圭室文雄	東條光雅	南原一貴	長谷部八朗	
晴山俊英	平子泰弘	深澤信善	古山健一	宮地清彦			

募集要項

研修生

3年の研修期間中はカリキュラムに専念し、将来は布教教化に携わる人を募集します。

1. 応募資格 曹洞宗総合研究センター規程第17条に規定する者
ただし、国際布教課程を志願する者は、本宗の教師となることができる期間の安居を了じた者でなければ、受けることができない
2. 募集課程 (1) 一般教化課程 (2) 青少年教化課程 (3) 国際布教課程
各課程とも若干名
3. 研修期間 3年(規定による研修生奨学金月額20万円を給付)
※ただし、所得税等の課税対象となります。
4. 選考方法 筆記試験および小論文・面接
ただし、国際布教課程志願者については、別途英語試験を課す
5. その他
・筆記試験出題範囲
『曹洞宗宗憲』『仏教概論』『釈尊伝』『道元禅師伝』『瑩山禅師伝』
(曹洞宗ブックセンターにて入手可 0120-498-971)
※『曹洞宗宗憲』は『曹洞宗宗制』に含まれています
その他参考書籍『仏教の基礎知識』『仏教要語の基礎知識』
(水野弘元・春秋社) など
・出願書類
①入所申請書、履歴書 各1通
※志願者は所定の用紙を総合研究センターへご請求ください
②大学学部成績証明書、卒業証明書または卒業見込み証明書 各1通
※大学院修了者は、大学院・学部両方の成績・卒業(修了)証明書を添付
複数学部にて在籍した者は上記書類をすべて添付してください

研究生

1. 応募資格 曹洞宗総合研究センター規程第16条に規定する者
2. 研修期間 2年(規定による研究生奨学金月額25万円を給付)
※ただし、所得税等の課税対象となります。
3. 選考方法 小論文および面接
4. その他 出願書類
①入所申請書、履歴書 各1通
※志願者は所定の用紙を総合研究センターへご請求ください
②大学学部成績証明書、卒業証明書または卒業見込み証明書 各1通
※大学院修了者は、大学院・学部両方の成績・卒業(修了)証明書を添付
複数学部にて在籍した者は上記書類をすべて添付してください

○出願締切：令和3年12月17日(金) 当日必着

○選考試験日：令和4年 1月18日(火)

○オンライン説明会：令和3年11月19日(金) ※要申込
令和3年12月 3日(金) ※要申込

○選考会場：曹洞宗総合研究センター
東京都港区芝2-5-2 曹洞宗宗務庁第3分館
※日程の詳細は、出願締切後に各自に送付いたします。

出願書類請求・問い合わせ

曹洞宗総合研究センター

〒105-8544

東京都港区芝 2-5-2

曹洞宗宗務庁内

TEL: 03-3454-7170(代) FAX: 03-3454-7171

E-mail: soken@sotozen.jp